

産振構 NEWS

『世界を発振させる物創り、者創り』で 50億円企業をめざす

代表取締役社長 濱田 忠彦氏
株式会社ハマダ



広島で
ガンバル企業
p1

人と技術を育てる風土づくりで、 「グローバルニッチトップ企業」へと成長

代表取締役社長 下中 利孝氏
シグマ株式会社

広島で
ガンバル企業
p3



特集

～販売戦略塾～

売れる商品づくり・仕組みづくりを習得!

販路拡大のための支援を紹介します

NEW!



スマホで簡単!!
動画を見よう!

使い方はP.9へ

レポート

- 東アジア最大級の総合食品見本市「FHC CHINA 2016」への出展
- 食品輸出における「国際認証に関する勉強会」の実施
- 「モノづくりフェア2016」初出展!
- 「欧州車のベンチマーキング活動を実施」
- 「平成28年度モデルベース開発研修」
- おりづるタワーとのコラボによる販路拡大の支援!!

インフォメーション

- 「創業入門セミナー(府中市)」のご案内
- VE実践編セミナー「開発設計のVE」のご案内(福山開催)
～価値の高い製品の開発を実現するために～
- 広島県中小企業技術・経営力評価制度のご案内
～財務諸表に表れない自社の「強み」を発掘して、PRに活用してみませんか?～



タバコ縫合器の開発に取り組む開発部の原健一部長(左)と吉本賢人さん(右)



人工関節部品に活かされる球面加工技術



既に製品化されている医療用の鋼製小物の一例

広島で



ガンバル企業

『世界を発振させる物創り、者創り』で50億円企業をめざす



株式会社ハマダ

はま だ た だ ひ こ

代表取締役社長 **濱田忠彦氏**

- 本 社 広島県安芸郡府中町茂陰1丁目9番41号
- 八 本 松 工 場 東広島市八本松西4丁目1番1号
- 創 業 1946(昭和21)年
- 事 業 内 容 自動車部品、医療機器製造

自動車メーカーマツダが立地する府中町で自動車部品の加工を中心に事業を展開してきた株式会社ハマダ。近年は自動車分野で培った技術を活かして、人工股関節用部品や医療器具の製造に着手し、注目を浴びている。その狙いと展望を3代目社長濱田忠彦氏に聞いた。

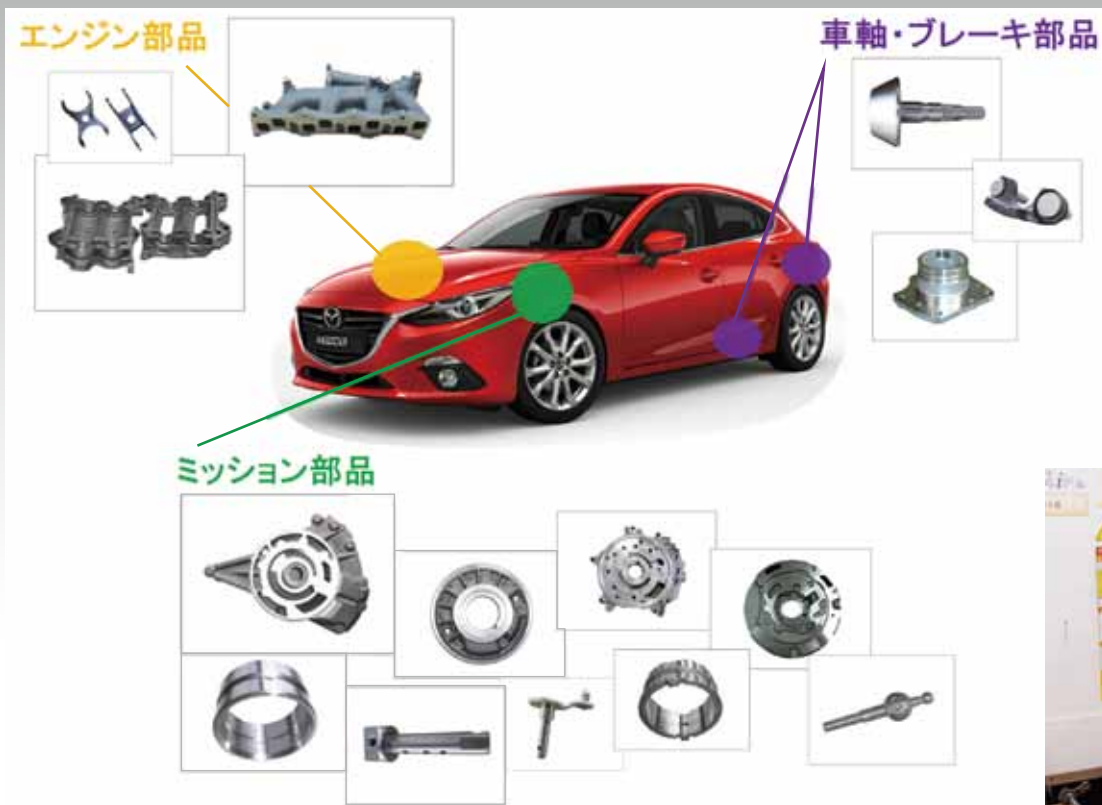
得意の球面加工技術を人工関節部品に応用

前身の浜田鉄工所は、戦後まもなく日本製鋼所広島製作所の協力工場として誕生。1953年に株式会社化し、今年創業70周年を迎えた。この間、同社の屋台骨を支えてきたのがエンジンやミッション、ブレーキ部品などの加工を中心とした自動車部品事業。強みは高精度の球面加工や鏡面仕上げにも対応できる高度な精密加工技術で、ミクロン単位の精度の加工が可能だという。

2007年、広島県による視察事業に参画してドイツの医療機器展示会を訪れた濱田社長は、人工股関節の部品を見て「我が社が得意とする球面加工技術で製作可能」と直感。国内で使われている人工股関節は8割以上が海外製品という現状に、挑戦する余地があると判断し、人工関節に精通する広島大学の安永裕司教授(現広島県立障害者リハビリテーションセンター所長)の指導を仰ぎながら耐摩耗性に優れた人工股関節部品の共同研究を行った。人体の関節と置き換えて機能を再現する人工関節には技術的に高いハードルが存在していたが、試行錯誤の末、国内メーカーへの部材供給という形で医療機器分野への参入を実現した。

自社ブランドの医療器具開発への挑戦

広島県では2012年に「医療関連産業クラスターアクションプラン」を策定し、県が誇るものづくり技術を、今後成長が見込まれる医療福祉分野へ応用・活用し、高付加価値で国際競争力が高い産業クラスターの形成を目指している。このアクションプラン推進の担い手の一つが産振構の「ひろしま医工連携推進センター」であり、同センターは医療関連産業クラスターの形成に向け「ひろしま医療関連産業研究会」の活動に取り組んでいる。同社はこの研究会の設立と同時に会員企業として参画。「いずれは医療機器のメーカーとして自社製品を手がけたい」と考えていた矢先、研究会セミナーの講師であった九州大学先端医療イノベーションセンター大平猛教授の話を受けて感銘を受け、九州に飛んだ。何度か通ううち提供されたニーズが腹腔鏡手術に用いる自動縫合器。食道や腸のような円筒形の器官の内視鏡手術で、病巣部位を切除した後に縫合する器具だ。巾着袋の口のように縫い合わせるこの縫合法は「タバコ縫合」と呼ばれている。補助金の獲得や、「ひろしま医工連携推進センター」による大学研究室とのマッチングなどの支援を受けながら、同社はこの縫合器の開発に挑み、2015年1号機を完成させている。この縫合器は直径12mmの



70周年記念パネル



自社で構築した自動化設備(自動車部品製造)

創業以来の主力事業は様々な材質の自動車部品精密加工

管の中に針と糸を内蔵し、手元の操作で自動的に縫合できる。従来の器具に比べ、ギアやワイヤーなどを組み合わせて先端が様々な角度に曲がる動きを実現したことで、手術時に術者の使い勝手が格段に向上し、患者さんへの負担も大幅に軽減される。また、センターによる県業務課相談への同行やアドバイスを受け、2014年には医療機器製造業許可、第二種医療機器製造販売業許可を取得。学会発表や展示会出展を通じて、様々な金属製手術器具開発の受注が相次いでいるという。「開発以上に戸惑ったのが医療機器の場合、製品ごとにクラス分類に応じた届出や認証の取得を要すること。未知の領域ですから手探りでここまで歩んできました。自社開発製品であれば、それが臨床において実際に用いられているという実績が必要なため、医師や医療機関との連携も不可欠です。こうした課題をクリアして、いずれは広島発の画期的な医療器具を国内に浸透させ、海外での事業展開にも挑みたい。売上構成比ではまだ全体の数パーセントですが、医療機器分野の潜在的な成長可能性は大きいと考えています」と瀧田社長は新分野進出の展望を語る。

今年1月には医療機器分野を強化するため、開発部を設置し、試作品を作るための3Dプリンターや、スキャナーも導入した。

経営環境の変化に柔軟に対応し 技術力・成長力を向上

自動車部品加工で培った技術を生かした新分野への進出は、事業の柱である自動車部品での競争力をより強化する戦略でもある。自動車部品加工の事業領域では、精度とともにスピード・生産量についても弾力的な対応力が求められ、ハイブリッド・電気自動車などの開発が進んだことで技術面の難易度も上がっている。自動車部品よりも精密な加工を求められる医療機器部品を手がけることで、自社保有の技術がさらに磨かれるというわけだ。加工だけでなく、工程内の作業用ロボットなど可能な限り社内で自動化設備を構築し、製品仕様の変更に対応するため治具の社内製作まで行う。こうした社内技術の蓄積は、自動車部品分野において同社からの新規提案などを可能とするような大きなポテンシャルとなりうるものといえる。「当社の経営理念は『世界を発振させる物創り、者創り』。社員の教育に力を入れ、働く喜びや挑戦する楽しさを肌身で感じる社風を大事にしています」。業績はマツダのV字回復とともに絶好調で2016年4月期の売上高は31億円。2020年までに50億円企業になることをめざし、10億円規模の設備投資を予定しているという。起業家的な精神で新しいビジネスを開拓し、経営環境の変化に対応する技術力・成長力を向上させている同社の挑戦に今後も注目したい。

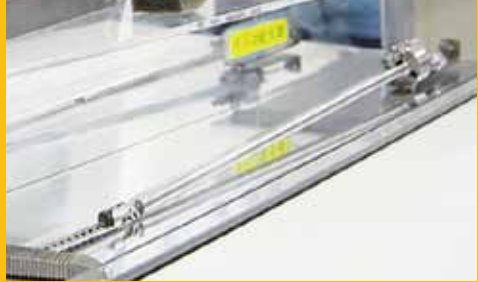


我が社のじまん!

複雑な動きを可能にした「腹腔鏡下タバコ縫合器」

自社製品では初の本格的な医療機器として開発。改良機では針を管内に回収できる工夫が加えられている。

社内組織として新設された「開発部」で更なる医療機器開発に取り組む。





下中社長と穴ライザー開発責任者の江崎泰史社長室長(兼)LIS事業部長(左)



広島で

HIROSHIMA

ガンバル企業

人と技術を育てる風土づくりで、「グローバルニッチトップ企業」へと成長



シグマ株式会社

したなかとしたか

代表取締役社長 **下中利孝氏**

- 本 社 ・ 工 場 広島県呉市警固屋9丁目2番28号
- 創 業 1937(昭和12)年
- 事 業 内 容 輸送機器精密部品・セキュリティ機器、
レーザー傷検査装置機器の製造販売、海外貿易

自動車用の精密部品製造を起点に、金属成形技術を高度化させながらプラスチック成形や金型事業を展開。さらにセキュリティ機器、レーザー傷検査装置開発と新分野を開拓し、世界に挑むものづくり企業へと進化しつつある呉市のシグマ株式会社。下中利孝社長が取り組んだ企業変革の軌跡を追う。

独自の技術や製品開発に力を注ぎ、技術提案型企业へ

シグマ株式会社は、戦前の創業期から旧呉海軍工廠や東洋工業(現マツダ株)に向けた精密部品の加工・製造を手がけ、いち早く冷間鍛造を導入するなど各種成形技術を磨いてきた。1989年、先代の急逝で若くして経営を引き継いだ3代目の下中利孝社長は、「特定の取引先からの受注に依存するビジネス形態のままでは生き残れない」と考え、複数の新規取引先候補の企業に独自の技術や製品を開発提案できるよう自立化を進めてきた。これまで、「創造型未来企業」を目指してきたシグマは、金属成形技術の高度化を進めると共にプラスチック成形と金型事業を起こした。また、セキュリティ商品を開発・事業化し、部品事業の課題解決のための取り組みであったレーザー傷検査装置を事業の新たな柱へ進化させつつある。

社員のアイデアを汲み上げ、防犯装置で新市場を開拓

「自動車部品以外にも何か作れないか？」社員に様々なアイデアを募る中で、1996年に事業化に至ったのがセキュリティ

製品だ。「取引先の建設会社の現場が頻繁に荒らされていると耳にしたのがきっかけです。防犯のための装置はニーズが多様化し、必要とされる技術も広範囲に及んでいるので、この分野なら新規参入でも可能と判断。電気・電子系技術を強化したいという思惑もありました」と下中社長はいう。音とフラッシュによる警報機を考案したのを皮切りに、万引防止用防犯ゲート、防犯タグなどの開発に乗り出し、これらの特許や商標を次々に取得。当初はレンタルビデオ・CDショップがターゲットであったが、マーケットの変化を読み流通業界に絞り込んだ上で販路を開拓し軌道に乗せた。

世界が注目するオンリーワン技術のレーザー傷検査装置

一方、製造ライン自動化を実現するロボットや各種装置の自社開発にも取り組み、高効率生産を追求する中で、課題として浮かび上がったのが人の目視が頼りの部品検査工程。エンジンのシリンダーなど円筒状の切削部品やダイカスト部品の穴内部を目視で全



グローバルニッチトップ企業100選(2014年)、元気なモノ作り中小企業300社(2007年)



技能検定や改善提案にも力をいれている



社員の改善提案を相撲の番付表に見立てて提示している。



主力の部品製品



工場には常に整理・整頓・清掃されきれいな状態が保たれている。社長による寝ころび診断の様子



寝ころび診断で実際に使われたスーツ

数検査するのは大変な労力と熟練を要する。これを自動化できないかと考え、相談に行った産業技術総合研究所でヒントを得て、2000年からレーザー光を用いた自動検査装置の実用化研究をスタート。

2005年には試作品が完成し、翌年1号機の販売を始めた。2007年発売の2号機はスピードを大幅に向上させたものの、リーマン・ショックの影響のもと、全く売れず、さらに改良を加えた3号機でようやく事業が本格化。2011年には産振構の補助金「新事業創出チャレンジ企業支援事業」に採択され、精度やスピードアップなど性能向上を継続的に取り組んだ。「穴ライザー (ANALYZER)」と名付けられたこの装置は、オンリーワンの技術であり、国内はもとより海外のメーカーからも引き合いが増え、世界シェアほぼ100%を占める。

2014年には、ニッチ分野において高い世界シェアを有し、優れた経営を行っている企業を選ぶ経済産業省「グローバルニッチトップ企業100選」に選定された。また、同省による研究開発等を支援する補助金「戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)」にも採択され、欠陥の判別とともに、穴の寸法・真円度など加工の状態が計測できる世界初となる画期的な装置を開発中だ。

加えて2016年7月には、同じく経済産業省の政策である「新市場創造型標準化制度(自社の技術・製品が市場で際立つような評価基準、品質基準、試験方法などを、日本工業規格(JIS)や、国際規格(ISO規格、IEC規格)として標準化する制度)」にも採択された。

*採択テーマ名:「レーザーによる円筒形状部品の筒内外壁検査装置(レーザー傷検査装置)に関する標準化」

中小企業にとってはハードルの高いJIS規格の制定に向けて、国や(一財)日本規格協会の全面的なサポートを受けられる制度で標

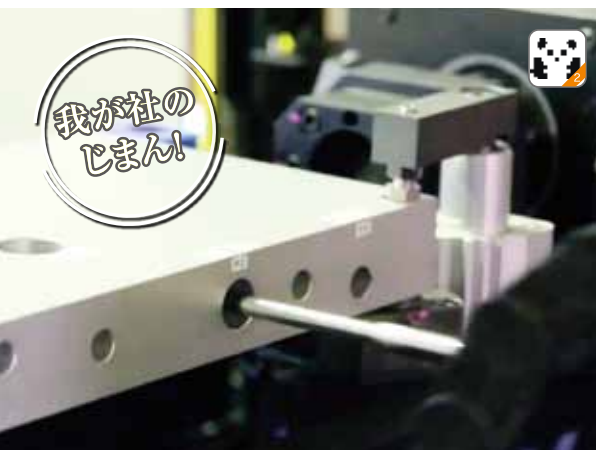
準化されれば、「穴ライザー」の優秀な性能を客観的・定量的に立証することが可能になる。

「将来的には国際規格ISOも視野に入れ、国際標準と国際特許をセットにして、世界中のお客様に「穴ライザー」の良さを発信すると共に、モノづくりの高度化に貢献できればと思っています。」

コーポレートスローガンは「人と技術の無限大」

こうした研究開発力はどこから生まれるのか。「テーマを定めたら情熱をもって挑む。足りない技術は大学や公的な研究施設に素直に教えを請う。そうやって一つひとつ課題をクリアしてきました。また人材育成にも力を入れています」。同社では先輩のフォロー、上司のサポート、会社のバックアップと三位一体で個々の資質を磨く教育体制を構築。社外教育や通信教育で専門教育を受けることも奨励し、そこで学んだ社内認定インストラクターが、その知識・技術・技能を社内の隅々まで展開していく。インストラクターは現在45人、技能検定合格者数は143人にのぼるという。「人によって新しい技術が生まれ、その技術によって人は更なる進歩を重ねることができる。人と技術のハーモニーによって企業としてのパワーは無限に増幅する。人に思いを入れ、技術に未来の夢を託し、独自性を貫きながら未来に向かって前進し続ける」そのような企業像を指す「人と技術の無限大」が同社のコーポレートスローガンだ。

下中社長は今、多様な能力を持つ人が集い、生き生きと輝く「人型未来企業」への成長を目標に掲げる。「人生の1/3を占める仕事が楽しく刺激的で、喜び合えるものになるよう人間主役の経営を実践していきたい」と更なる高みを目指す。



オンリーワン技術のレーザー傷検査装置「穴ライザー (ANALYZER)」

「オンリーワン技術のレーザー傷検査装置」

穴ライザー

自動車、二輪車、建設機械、農業機械等に搭載されているエンジン部品、トランスミッション部品等の円筒内径面など細かい穴に、高速にシャフトを回転しレーザーを照射させながら穴に挿入することで、内部をスキャン、傷など欠陥の有無を正確にスピーディーに判定するオンリーワンの検査装置。



意外に身近なところにも! シグマのセキュリティ製品誤作動を抑え、高い検知性能を実現した防犯ゲートをはじめ、防犯カメラ、遠隔監視システム、防犯タグなど、ストアセキュリティ領域でも高い技術力を発揮。大手量販総合衣料品店チェーンでは全国に展開するグループ全店で同社の防犯ゲートが採用されている。

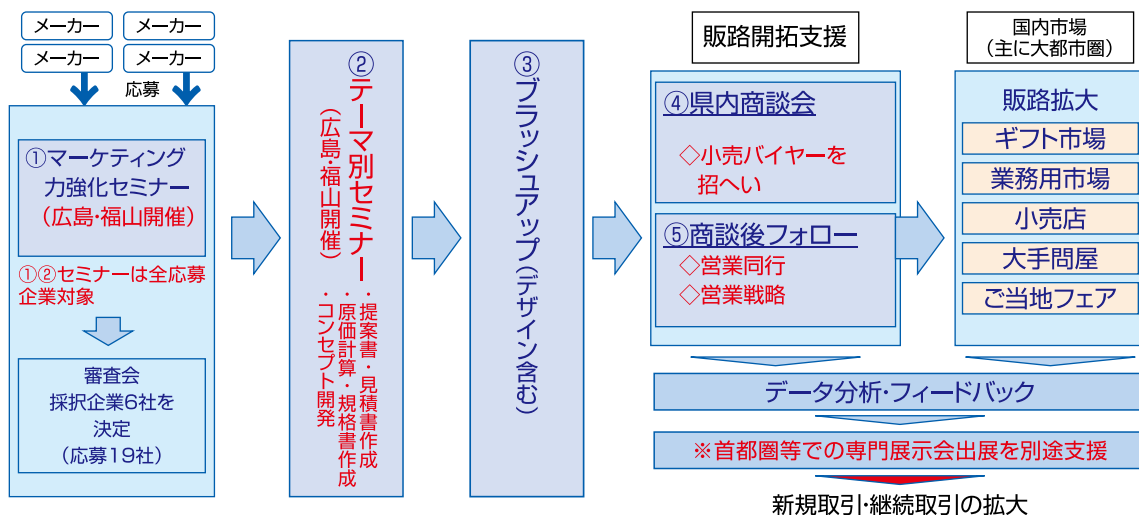


～販売戦略塾～売れる商品づくり・仕組みづくりを習得!

販路拡大のための支援を紹介します

販売戦略塾とは

中小企業・ベンチャー総合支援センター 起業化・事業化支援担当では、県内中小企業の経営者や社員を対象とした、自社のマーケティング力の強化、個別商品のブラッシュアップ等を通して、“売れる商品づくり・仕組みづくり”を図り、県産品の県内外への販路拡大を支援しています。



支援スキーム

Topics

1 マーケティング力強化セミナー



講師:株式会社CDG
代表取締役社長 大平 孝氏

元東証一部上場ギフト卸商社のカリスマバイヤー。商品開発部長、代表取締役を経て、地域活性化のための地域産品開発支援・販路開拓支援・営業支援企業である株式会社ゴールドボンドを立ち上げ、全国の地域商品の百貨店・大手量販店・ギフト・業務用関係等の販路開拓で活躍。現在は株式会社CDG代表取締役社長を務めている。



県内中小企業の経営者や社員を対象に、広島・福山の2会場で「マーケティング力強化セミナー」を開催しました。地域産品などを扱う商社(株)CDGの大平社長からマーケットイン発想の必要性、顧客のニーズを把握する方法や効果的なプロモーションなどについて事例を交えてご講演いただきました。また、よしの味噌(呉市)の野間雅則社長(平成24年度販売戦略塾受講生)から販売戦略塾で学んだことや失敗、苦労を重ねながら全国販売しているヒット商品「広島れもん鍋のもと」の開発に至った経緯など、実体験をもとに広島県の代表的な地域資源であるレモンの活用法を紹介いただきました。(開催日:5月21日・22日、参加人数:188名)

Topics

2 テーマ別セミナー

今年度はご相談・ご要望も多く、ものづくり企業の課題である、流通のしくみ・原価計算・商品表示等について、ワークを通じて知識を習得するセミナーを、広島・福山の2会場で各計3回にわたり開催しました。

開催日	テーマ	講師	参加人数(計)
6月20日・21日	コンセプト開発セミナー	中井 優紀 氏	121名
9月15日・16日	原価計算・規格書作成セミナー	(株)ゴールドボンド	81名
10月27日・28日	商品提案書・見積書作成セミナー	塚元 新二 氏	81名

商品ブラッシュアップ(個別企業支援)

マーケティング力強化セミナーを受講した食品系・雑貨系の企業で、本支援を希望する企業に対して、販路開拓専門家とデザイナーによる個別商品のブラッシュアップ(既存商品の改良、新商品の開発)支援を実施しています。販路開拓専門家が企業の目指す販売戦略と既存商品を見比べながら、適切で効果的な助言等を行うとともに、マーケットインの発想と顧客ニーズを考慮しながら商品パッケージのデザインも含めて全国展開を狙える商品づくりをお手伝いします。

平成28年度は6社を支援。



ブラッシュアップ事例



ネット通販などで販売していた商品でしたが、価格とのミスマッチにより苦戦していました。ギフトや高級粗品に狙いを絞り、着実に販売実績が上がるような容器・ラベル・外箱等にブラッシュアップしました。

商品開発事例



今までになかったタイプのレモンケーキを目指して商品を開発、ネーミングとパッケージ作成を支援し、地元の百貨店や駅ナカへの販路を開拓しています。

県内商談会

全国規模の小売バイヤーと加工食品関連メーカー(21社)とのマッチングの場を提供する『県内商談会』を11月30日に開催しました。

毎年実施しているこの商談会では、バイヤー側からデザインや容量等について、売り場視点からの意見をもらうことができ、参加企業の商品開発にも大きく役立っています。また、この商談会を通じて新規取引が決まった企業も多く、参加企業からも好評を得ています。



【平成28年度招へいバイヤー】

バイヤー企業	形態	備考
(株)成城石井	高級スーパー	首都圏から関西圏で店舗展開
(株)高島屋クロスメディア事業部	通販	百貨店のギフトECサイト
(株)日本百貨店	専門店	東京・神奈川で店舗展開
(株)広島三越	百貨店	広島市内に店舗を持つ全国区百貨店
(株)福屋	百貨店	地元百貨店
(株)三越伊勢丹フードサービス(クイーンズ伊勢丹)	スーパー	首都圏等で店舗展開
(株)アーバンリサーチ様	専門店	全国等で店舗展開

※その他県内に拠点を置く食品総合卸売業者2社(中村角嶽、三井食品(株)中四国支社)も招へい。

<バイヤーの声>

- ・地域ならではの原材料を使用した商材に会えた。
- ・商品開発をしたいと言われていたのでアドバイスをさせていただいた。
- ・コンセプトが明快である商品がありイベントや定番商品で取扱いたい。

<参加事業者の声>

- ・よい商談ができた。早速商品企画および見積書を提示した。
- ・バイヤー様の貴重なご意見をいただいたので商品のブラッシュアップに役立てたい。
- ・首都圏で戦える商品力、営業力が備わってきた。

商談後のフォロー

県内商談会終了後、優先順位の高い商談先へ販路開拓専門家による同行営業等による支援を実施し、成約率を高めるためのフォローアップを行います。

※首都圏で開催される専門展示会

『スーパーマーケット・トレードショー2017』に出展

商品のブラッシュアップ支援により完成した商品の販路開拓の更なるきっかけづくりとして、首都圏の展示会出展をサポートします。「スーパーマーケット・トレードショー」は来場者数9万人を見込む国内最大級となる食品専門展示会であり集客力も高く、商談・成約の効果は非常に高いものとなっています。

- 【名称】 スーパーマーケット・トレードショー2017
- 【日時】 平成29年2月15日(水)、2月16日(木)、2月17日(金)の3日間
- 【場所】 幕張メッセ 全館(千葉県千葉市)



(スーパーマーケット・トレードショー2016)

お問い合わせ

中小企業・ベンチャー総合支援センター起業化・事業化支援担当
 TEL 082-240-7701 FAX 082-249-3232
 E-mail:sien-center@hiwave.or.jp

REPORT

ひろしま産業振興機構が実施・協力した事業の概要をご報告します。

REPORT 1

東アジア最大級の総合食品見本市「FHC CHINA 2016」への出展

国際ビジネス支援センターでは、海外販路開拓支援事業の一環として、食品・飲料等の県内商品の輸出促進など経済交流拡大を目指し、同時に広島県の知名度やイメージの向上を図るため、当センターの広島上海事務所を中心に、中国の上海で11月7日～9日に開催された「FHC CHINA 2016」に広島県内企業17社と共に参加しました。

併せて11月10日には独自に、上海及び周辺都市のバイヤーとの広島県食品商談会を実施し、また11月11日には、上海市内の食品スーパーを訪問し、担当者から上海市場の動きなどについて情報提供を受けるとともに、店内の視察を行いました。

今後は、参加企業と現地バイヤー双方のニーズ把握等のフォローにより、効果的な販路拡大に繋げ、広島県のさらなる経済発展の実現を目指します。

FHC CHINA 2016 概要

【会期】11月7日(月)～9日(水)

【会場】上海新国際博覧中心

【来場者数】46,450人(同時開催の「ProWine CHINA」を含む)

【出展企業数】65ヵ国から約2,350社・団体(//)

【商談件数】約1,500件(県内参加企業17社の実績値)

広島県食品商談会 概要

【日時】11月10日(木) 10:00～16:00

【会場】花園飯店(上海市内)

【来場者数】51社65人

【商談件数】162件



県内出展企業及び主な出品物

(株)上万糧食製粉所	抹茶きな粉、青きな粉、きな粉
桜南食品(株)	しょうが湯、はちみつレモン、瀬戸内産レモン果汁入りひやしあめ
オタフクソース(株)	Yuzu Sauce、Onion Sauce、九州ゆず胡椒だれ
クラタ食品(有)	瀬戸内麺めぐり、ミートフリーラーメン、緑の味屋 野菜素麺
サンフーズ(株)	ミツワゆずソース、ミツワお好みソース、ミツワ焼肉のたれ
(株)純正食品マルシマ	檸檬ぼん酢、ゆずぼん酢、マルシマ純米酢
田中食品(株)	ごはんにあう菜 ごま入り、ごましお、旅行の友
(有)土井酒店	海の幸ジュレ りんご、海の幸ジュレ みかん
堂本食品(株)	北海道黒豆、しっとり大納言、栗甘露煮FP
(株)ファームスズキ	活殺付牡蠣、スモーク牡蠣
(株)フレスタ	FRESTA Bimi Smile だんごの粉、FRESTA Bimi Smile 米粉
(株)マイナス600ミリボルト	科学から生まれた還元水 -600mV「水素水」
マルト製菓(株)	かすてら、チーズケーキ、抹茶かすてら
三島食品(株)	瀬戸風味、のり弁の秘密 かつおぶりかけ、ごまあえの素
(株)三宅本店	純米大吟醸、大長レモン酒、にがり酒
ミリアグループ(株)	健酵源、ファスリムグリーンスムージー、コラーゲン10000
リベルテ本帆(株)	レモニカ、ジャパニカ、イタリーカ

【お問い合わせ】

国際ビジネス支援センター

TEL 082-248-1400 FAX 082-242-8628

REPORT 2

食品輸出における「国際認証に関する勉強会」の実施

Agri&Foods Export Frontier, Hiroshima(アグリ協議会:広島県内の農林水産物の生産・販売、加工食品や飲料の製造・販売に関連する57の企業等で構成される団体で、国際ビジネス支援センターに事務局を設置)では、平成21年の設立以来、海外での商談会・物産展などの開催を通じて広島県の農林水産物・食品の輸出に積極的に取り組んできました。

農林水産省が平成31年に農林水産物・食品の輸出額1兆円を目標に掲げ、国をあげての日本産品・食品の輸出増大への動きがますます加速し、食品産業の輸出・海外展開が進む中、取引先から、「科学的アプローチによる食品安全基準への適合」=「国際的に通用する規格・認証」を求められるケースが増えています。

このたび、グローバル市場での信頼と競争力を強化できる「国際認証」に対する理解を深めるため、アグリ協議会参画企業を講師に、勉強会を開催しました。



【日時】11月16日(水) 13:30～15:30

【会場】広島県情報プラザ2階「会議室」

【講師】オタフクソース(株) 品質保証部 品質保証課 課長 秋山 信氏

【内容】食品安全への取組方針、FSSC22000とは、取得経緯、取得メリットなど

【参加者】19名

【お問い合わせ】

国際ビジネス支援センター

TEL 082-248-1400 FAX 082-242-8628

「モノづくりフェア2016」初出展!

経営基盤強化支援センターでは、自動車関連産業サプライヤー支援事業(自動車関連モノづくり企業の支援を行うための事業)の一環として、「モノづくりフェア2016」に出展する県内中小企業(9社)及び企業グループ(1グループ)に対し支援を行いました。

【会期】10月26日(水)~10月28日(金)

【会場】マリンメッセ福岡

この展示会出展は、自動車関連企業の集積する九州地区をターゲットに、当財団支援のもと、広島県内の企業がまとまって初めて出展したものです。展示会では、当財団が出展支援した「モノづくりコーナー」のほか、「次世代技術コーナー」、「環境・エネルギーコーナー」等の併設もされ、自動車関連企業のみならず設計・開発・製造・生産技術・購買・品質部門など国内企業、韓国・台湾・インド等アジア各国の企業関係者も来場され盛大に開催されました。

また、工業高校が集積する地区でもあり学校単位での来場も多く、将来のエンジニア達が最新の部品・技術に対し目を輝かせて積極的に質疑応答をする姿も見受けられました。

今後も、広島県内企業の販路拡大のためのPRの場として様々な展示会への出展支援を行っていく方針です。



広島ブースパンフレット



広島ブース



出展風景



【お問い合わせ】

経営基盤強化センター 販路開拓支援担当 TEL 082-240-7704 FAX 082-242-8627

「欧州車のベンチマーキング活動を実施」

カーテクノロジー革新センターでは、ベンチマーキングセンター利活用協議会の今年度の活動として、かねてより県内企業から要望のあった欧州車である「フォルクスワーゲン パサート」のベンチマーキング活動を行いました。当協議会の活動では初の外国車となりました。9月23日から30日にかけて、広島県立総合技術研究所西部工業技術センター(呉市)内のベンチマーキングセンターにおいて、車の分解、分解部品の展示を実施しました。分解作業、部品展示の見学には県内企業を中心に約50社/団体、延べ300名強の方が参加し、欧州車の特徴などを熱心に見学されていました。その後各社が希望する部品を持ち帰り、詳細な分解調査と分析を実施しました。今年度は、来年1月にも日産の新型セレナのベンチマーキング活動を予定しています。

※ベンチマーキング活動に参加希望の際は、「ベンチマーキングセンター利活用協議会」にご加入ください(入会無料)。



【お問い合わせ】

カーテクノロジー革新センター TEL 082-240-7713 FAX 082-242-7709

E-mail:atic@hiwave.or.jp

「平成28年度 モデルベース開発研修」

研究開発支援センターでは、県内企業の製品開発を担当する技術者を対象に、開発期間の短縮、コスト削減、開発品質の向上に向けた効率的な開発システムについて学習するモデルベース開発研修を開催しました。

本研修では、広島大学、近畿大学、福山大学、川崎医療短期大学の先生を講師に迎え、企業の開発現場で使われているツールを使って、学習していただくとともに、マツダ株式会社による開発現場での事例紹介も行いました。

本研修は、平成20年度から取り組んできましたが、年々参加希望者が増加傾向にあり、今年度は定員を大幅に超える応募がありました。

参加された方からは「基礎から段階を経ての講義内容で、分かり易く、実際の仕事に活かせる内容だった」などの意見を頂き大変好評でした。

来年度以降も、さらに拡充して研修を開催する予定です。

実施期間等	平成28年7月7日～9月16日(のべ15日間) 参加者20名
内 容	設計・解析研修: モデルベース開発の概論・MATLAB操作演習・ Simulink操作演習・制御系設計・オープンソースの活用 実 践 研 修: 制御システムの検証



設計・解析研修の様子



実践研修の様子

【お問い合わせ】

研究開発支援センター

TEL 082-240-7712 FAX 082-242-7709

https://www.hiwave.or.jp/organization/sangakukan/manpower/

おりづるタワーとのコラボによる 販路拡大の支援!!

かつて広島県産業奨励館と呼ばれた「原爆ドーム」は、広島の文化や産業が育んだ産品が数多く集められ、広島らしさの発信拠点となっていました。

平成28年9月23日にグランドオープンした『おりづるタワー』は、原爆ドームに隣接している立地特性を踏まえ、その潰えてしまった当時の想いを引き継ぎ、広島の復興や希望、そして未来などの豊かさを感じてもらう場所として、地域へ貢献したいという思いから、株式会社広島マツダが建設運営されています。

このおりづるタワーには、屋外展望台、ワークショップスペース、カフェ、物産館など様々なゾーニングが展開されていますが、特に1階北側に、広島の名産品を手にとりていただき、購入いただける場としての「物産館」が設けられています。

ひろしま産業振興機構では、販路開拓支援事業を通じて、これまで専門家による商品のブラッシュアップ(改良)や首都圏等の専門展示会等での情報発信等の支援を行ってきた県内事業者の商品を、この物産館のオープンに際して、ご紹介し物産館で取り扱っていただいております。

加工食品・飲料や生活雑貨品をお作りになられ、当財団の支援事業を通じて、専門家によるアドバイスや販路開拓等を希望される県内事業者様は、是非、当財団へお問い合わせください。



【お問い合わせ】

起業化・事業化支援担当

TEL 082-240-7701 FAX 082-249-3232

E-mail sien-center@hiwave.or.jp



マークのある写真をケータイで読み取って

動画を見よう!

インストール後、
アプリを起動し画像を
スキャン。認識されると
コンテンツが流れます。

102号は2017年3月まで公開!

AR利用方法

動画を見るにはCOCOAR2アプリをダウンロード(無料)

※「COCOAR2」のご使用は、Wi-Fi、LTE環境を推奨しています。回線混雑状態等により画像の認識や動画再生が遅くなる場合があります。スマートフォンのみ対応しています。

iPhoneの場合

右記のQRコードを読み取りアプリをダウンロードしてください。



または…

アプリ検索

COCOAR2

検索

Androidの場合

右記のQRコードを読み取りアプリをダウンロードしてください。



または…

アプリ検索

COCOAR2

検索

INFORMATION

ひろしま産業振興機構が実施する支援事業や制度、さまざまなイベントの開催等、最新の情報をご案内します。

「創業入門セミナー(府中市)」のご案内

申込み受付中!!

受講料
無料

府中市・府中商工会議所・上下町商工会・日本政策金融公庫・ひろしま産業振興機構では、広島県内で創業を目指す方・創業後間もない方・第二創業を目指す方を対象とした創業セミナーを開催します。このセミナーでは創業に必要な基本的知識やスキルを学ぶとともに、ビジネスプランの作成ワークを行います。奮ってご参加ください。

- 日 時 平成29年1月28日(土)、2月4日(土) ●対象者 ・広島県内で1年以内に創業を目指す方
いずれの回も10:00~17:00(全2回) ・創業後1年以内の方
- 会 場 府中商工会議所(府中市元町445-1) ・第二創業を目指す方
- 講 師 榎 志織 氏(Noal(ノアル)代表) ※専門家の方は対象となりません。
- 定 員 20名(先着順)



セミナーの詳細については、ひろしま創業サポートセンターのHPをご覧ください。 <https://www.hiwave.or.jp/purpose1/foundation/>

【お問い合わせ】ひろしま創業サポートセンター TEL 082-240-7702 FAX 082-249-3232 E-mail: found-support@hiwave.or.jp

VE実践編セミナー「開発設計のVE」のご案内(福山開催)

申込み受付中!!

受講料
無料

～価値の高い製品の開発を実現するために～

「高度で複雑化する技術課題に取り組むには、さらに実践的なVE手法を学びたい」との声にお応えして、新しく下記のセミナーを開催します。ぜひご活用ください。

- 開催日 平成29年2月23日(木)・24日(金)
- 会場 東部工業技術センター(福山市東深津町3-2-39)
- 時間 9:00~16:30 ●定員 24名
- 講師 谷 彰三氏 バリューアップ研究所 代表(元シャープ株)
- 対象 ・VE基礎知識をお持ちの方(VE基礎セミナー修了程度)
・VEリーダー資格保有者の方
・開発/設計業務に従事されている方向きです。
- プログラム 顧客の要求を実現するための開発基本構想の創造から、設計図として具体化する段階において実施するVEの具体的方法を学んでいただきます。



※広島会場(1月19日・20日開催)は、満席につき受付を終了しました。

セミナーの詳細については、カーテクノロジー革新センターのHPをご覧ください。 <https://www.hiwave.or.jp/atic/>

【お問い合わせ】カーテクノロジー革新センター TEL 082-240-7713 FAX 082-242-7709 E-mail: ve@hiwave.or.jp

広島県中小企業技術・経営力評価制度のご案内

～財務諸表に表れない自社の「強み」を発掘して、PRに活用してみませんか?～

平成25年7月から開始以来、利用実績160件超!

●広島県中小企業技術・経営力評価制度とは

財務諸表に表れない技術力やノウハウ(ビジネスモデルを含む)をはじめ、成長性・経営力を評価した評価書を発行します。取引先へのPRや金融機関からの資金調達等に活用できるほか、評価によって明らかになった課題の解決に向け、支援メニューをご提案します。

●活用方法・メリット

◇分かりやすい評価・診断内容

第三者による客観的かつ分かりやすい評価により、自社の「強み」「弱み」が確認でき、取引先や金融機関等に対し、「自社の魅力」をアピールするツールとして活用できます。

◇低利融資制度の活用

県預託融資制度(事業活動支援資金)の対象となります。【融資利率0.7%~】

◇信用保証料補助による負担軽減

県信用保証協会の保証制度を利用した場合、保証料率△0.1%の優遇措置を受けることができます(一会計年度内20万円が限度)。

●対象となる方

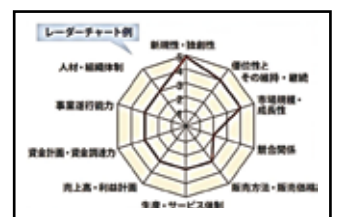
県内に主たる事業所等を有し、県信用保証協会の保証対象業種に属する中小企業者

●評価手数料(手数料の半額を産振構が負担するため、2分の1の額となっています。)

標準評価型50,000円~

●取扱金融機関

県内に本支店を有する21の金融機関を通じて申し込むことも可能です。詳しくは、以下の問い合わせ先までご連絡ください。



【お問い合わせ】広島県中小企業知財支援センター TEL 082-240-7718 FAX 082-249-3232 E-mail: c-hyouka@hiwave.or.jp

厳選素材と「こだわりの製法」で漬けています。

トビキリ本舗のお漬物!!



NEW 大正14年にラムネ製造業として創業した弊社は、手づくりの漬物メーカーとして、「トビキリの商品」を展開しております。漬物の素材は地元産を重視し、厳選したものだけを使用しております。塩分だけに頼らず、経験豊富な漬物職人が手作業で丹精込めて何回も何回も漬け込み、風味を重視した仕上がりとなっております。炊き立てのご飯のお供に、自家用やお土産としてご利用ください!

株式会社中元本店

〒737-0821 呉市三条1丁目4-8
TEL 0823-25-4644 FAX 0823-25-5854
http://www.tobikiri-n.com/ E-mail:jun1rou@tobikiri-n.com
[担当者名] 代表取締役 中元 順一郎

豆乳と混ぜてたったの5分加熱するだけ

まぜて簡単!なめらか豆乳プリンの素



NEW 植物性タンパク質が豊富で、ヘルシーな豆乳。近年、豆乳を日常的に飲むヘビーユーザーが増え、豆乳消費量も伸びています。そんな豆乳をたっぷり使ったプリンを、御社メニューの1品に加えてみませんか?

本商品は、温豆乳に混ぜてたった5分加熱するだけで、豆乳風味豊かで口溶けが良く、なめらか食感に仕上がります。「豆乳プリンの素」です。とことん味にこだわり、豆乳が苦手な方でもおいしいと言っていただけること間違いありません!サンプルのご要望を承り中です。

リヨーコクショウジ株式会社

〒733-0833 広島市西区商工センター5-7-5
TEL 082-277-6455 FAX 082-278-0381
http://www.ryokoku.com/ E-mail:rygrain@ryokoku.com
[担当者名] 商材開発・品質管理チーム 柳坪 宏美

国内最大規模の総合分析会社です

自動車部品や医療材料の分析・評価サービス



NEW 自動車の軽量化のための炭素繊維複合材料(CFRP)などプラスチック材料の分析のご相談を承ります。また車室内VOC規格試験や「におい」物質の分析についても実績があります。

また当社は、化学品、医薬品で長年培った分析技術と学際領域の知識をすりあわせることで、医療機器・医療材料の基礎研究から認証・承認申請に必要な試験データ取得までのご相談に対応致します。

株式会社 住化分析センター

〒731-0122 広島市安佐南区中筋3丁目28-13
TEL 082-555-8441 FAX 082-555-8331
http://www.scas.co.jp/ E-mail:j.satou@scas.co.jp
[担当者名] 広島営業部 佐藤 純子

特許取得!遊みながら分数が大好きになるカードゲーム

通分約分で遊ぶゲーム「分数大好き」



NEW カードゲームで分数の早期学習。遊みながら、分数の約分と通分を覚えられるカードゲームで、分数を習っていないカードの図形を見れば遊ぶことができ、学校の授業で分数を習った時にすんなり繋がる。大人の脳トレにもなり、お孫さんとも遊べて、家族団欒に。上がる前のリーチのかけ声が「分数大好き」なので、分数がだんだん好きになってくる!パーティや研修のアイスブレイクにピッタリ!

価格2,160円(税込)

株式会社分数大好き

〒731-5117 広島市佐伯区八幡が丘1丁目13番21号
TEL 082-299-7300 FAX 082-928-0055
http://www.bunsu-daisuki.jp E-mail:info@bunsu-daisuki.jp
[担当者名] 代表取締役 畠山 優子

賛助会員募集のご案内

当財団は、企業の新技術・新製品開発、創業・新事業展開、経営革新、経営基盤の強化、国際化等の取組みを総合的にバックアップする公益法人です。当財団の様々な活動は、賛助会員のご協力によって支えられており、事業の充実と県内の地域ニーズに応じた活動を展開するため、賛助会員を募集しています。賛助会員(一般、国際)に加入いただきますと、財団情報誌の無料配付や、セミナー・講演会等の優先案内・参加料の割引など、各種特典がございます。皆様のご賛同を心よりお願い申し上げます。お気軽にお問い合わせください。

お問合せ先

賛助会員(一般):総務企画グループ
賛助会員(国際):国際ビジネス支援センター

TEL.082-240-7715 FAX.082-242-8627
TEL.082-248-1400 FAX.082-242-8628